

### 035 腰痛（捻った腰痛）

男性 六十四歳 無職

主訴 腰痛

現症 10 日前、家の片付けをしていて、捻ったようで腰を痛める。特に動き始めが悪いという。整形外科に行きレントゲンを撮ってもらったが、別に異常なし。そこでの治療があまり効かず、来院する。

所見 脈は「やや沈やや数」、腹証は特になく、火穴も（－）、血圧が高くて降圧剤を服用している以外、内科的疾患や手術歴はない。

処置 やや肥えているので「築濱」から入る。「坐骨処置」をしたあと、「帯脈」。この患者も腹筋が軟弱なので「後帯脈」を取る。これを両側、硬い所を探し、時間をかけて雀啄を施していく。術後、軽くなったという。

経過 2 回目（3 日目）大分楽になり、動かしても痛くないという。脈を診ると「沈数」は消えていた。1 回で効いたようだ。

（「帯脈」の解説→症例 038）